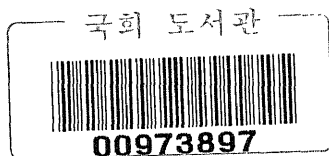


昭和十三年十月

現在實施中ノ研究・試驗並調査事項

朝鮮總督府水產試驗場

환 상 북

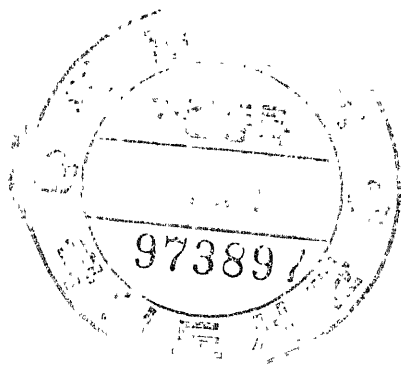


昭和十三年十月

現在實施中ノ研究・試驗並調査事項



朝鮮總督府水産試驗場



現在實施中ノ研究、試験並調査事項

朝鮮總督府水産試験場

漁撈並漁船ニ關スル事項

一 めんたい漁業試験

二 西海岸沖合漁業試験

1 あぢ、さば漁業試験

2 黃海底魚漁場調査

三 まいわし漁業試験

四 東海岸さば漁場調査

五 漁船試験

六 朝鮮水産會漁船改善事業ノ指導

製造加工並ニ生化學ニ關スル事項

一 まいわしノ處理ニ關スル試験

1 魚粉ノ製造ニ關スル試驗

(一) 魚粉中ノ酸化酸ニ關スル試驗

(二) 搾粕製造ノ際ニ於ケルニリン又利用ニ關スル試驗

(三) 油ノ採取方法ニ關スル試驗

(四) 煮熟ニ關スル試驗

(五) 油ノ分離ニ關スル試驗

2 搾粕ノ利用ニ關スル試驗

(一) 搾粕ヨリ食料品ノ製造ニ關スル試驗

(二) 搾粕ヨリ工業用品ノ製造ニ關スル試驗

3 罐詰ノ製造ニ關スル試驗

(一) ジャムトサーヂン製造ニ關スル試驗

(二) ペツパーザイン製造ニ關スル試驗

4 朝鮮産マイワシノ生化學的研究

ニ輸出好望品ノ創製ニ關スル試驗

1 ファイナンハデー製造ニ關スル試驗

2 ヲタクチイワシ油漬罐詰製造ニ關スル試験

3 ガザミ罐詰ノ製造ニ關スル試験

三 朝鮮海苔ノ生理ニ關スル試験

1 海苔胞子ノ生態ニ關スル試験

2 人工植付方法ニ關スル試験

3 青ノリ驅除ニ關スル試験

4 築材科及裝置ノ考案ニ關スル試験

5 春海苔ノ品質改善ニ關スル試験

6 朝鮮海苔ト内地海苔トノ成分組成ニ關スル試験

四 寒天製造ニ關スル試験

1 原藻撈登ニ關スル試験

2 漂白ニ關スル試験

3 製造ニ關スル試験

五 内臟利用ニ關スル試験

1 肝臟ヨリヤツリトン抽出ニ關スル試験

- 2 肝臟ヨリ生長促進劑ノ抽出ニ關スル試験
- 3 肝臟ヨリ催乳素ノ抽出ニ關スル試験
- 4 白子ヨリ男性ホルモンノ抽出ニ關スル試験
- 5 朝鮮産水産物ヲ原料トスル皮革ノ製造ニ關スル試験
- 6 セブテン製造ニ關スル試験
- 7 漁網ノ防腐染料及保存ニ關スル試験
- 8 干潟地利用ニ關スル試験
  - 1 アサリノ生理ニ關スル試験
    - (一) 潟土ノ性状トアサリノ生育ニ關スル試験
    - (二) 餌料ニ關スル試験
    - (三) 稚貝ノ移植ニ關スル試験
      - (イ) 抵抗力ニ關スル試験
      - (ロ) 稚貝時付量ノ多寡ト生育
    - (四) 高所干潟地利用ニ關スル試験
  - 2 カキノ生理ニ關スル試験

(一) カキ餌料ニ關スル試験

(二) カキ養殖装置ニ關スル試験

十、鹹水活魚ノ輸送並ニ書養ニ關スル試験

ハチ、プアコノ活輸送ニ關スル試験

養殖並ニ生物調査ニ關スル事項

一、重要水産生物ノ種ノ査定及分布調査

1 魚類

2 貝類

3 頭足類

4 蝦類

5 海膽類

二、重要水産生物ノ生態及生活史調査

1 魚類

2 頭足類

ハタコ類



(二) いか類

3 蝦類

三 朝鮮産魚類研究報告取纏及刊行

四 沿岸養殖並ニ蕃殖保護ニ關スル調査試験及研究

1 二枚貝ノ浮游期及底棲初期ノ稚仔ニ關スル研究

(一) 浮游期稚仔ノ査定及變態期ノ研究

(二) 重要二枚貝浮游期稚仔出現ニ關スル量的研究

2 あかがひ養殖試験及研究

(一) 人工採苗ニ關スル研究

(二) 人工採苗稚貝ノ育成ニ關スル研究

3 重要水産生物生殖時期調査

(一) さとえ

(二) かうらいえび

(三) あきあみ

(四) ずわいがに

兵庫海養魚場ニ於ケル淡水養殖ニ關スル事業及試験

1 淡水養殖試験

(一) こひ、かむるち一及ふな採卵孵化並ニ稚魚養成試験

(二) こひ飼育試験

(三) かむるち一飼育試験

(四) ふな養殖試験

(五) 貯水池利用養殖試験

(六) 水田利用養殖試験

2 稚魚及卵配付事業

(一) こひ稚魚及卵配付

(二) かむるち一稚魚配付

3 淡水養殖ニ關スル講習及指導

(一) 現地出張指導

(二) 來場者指導

(三) 文書ニヨル指導

(四) 講習會開催

4 稚魚輸送試験

海洋調査ニ關スル事項

一 沿岸定地海洋觀測

二 定線横斷觀測（全鮮各道水産試驗場連絡調査）

三 海潮流ノ觀測調査

1 表面海流調査（海流瓶調査）

2 潮流計ニヨル觀測調査

四 重要魚類ノ回游調査（標識魚放流）

五 まいわし資源ニ關スル海洋生物學的基本調査

1 産卵ニ關スル海洋生物學の調査

2 回游ニ關スル海洋生物學的調査

3 食性ニ關スル調査

(一) 海中プランクトンニ關スル調査

(二) 消化管内容食餌ニ關スル調査

4 漁場ソノ他ノ海況調査

5 其他

(ハ) 朝鮮ニ於ケル過去ノまいわし來海異常現象ニ關スル調査

(ニ) 各生育期ヲ通ズル殘存率及コレニ及ボス自然及人爲的影響

ニ關スル調査

(ウ) 漁況ノ長期及迅速豫報方法ニ關スル研究

六 海水ノ化學成分ニ關スル調査

七 漁況調査並海況報告

1 漁況調査

2 朝鮮近海海洋圖ノ刊行

北鮮支場試験事項

一 搾粕製造方法ノ改善ニ關スル試験

(1) 各種壓搾機ノ優劣比較試験

(2) 新式壓搾法ノ考案

(3) 魚油分離槽ノ改良ニ關スル試験

ニ罐詰製造ニ關スル試験

(1) ベツパーカーテンル製造ニ關スル試験

(2) ライツジニホリ罐詰製造試験

(3) 鯖油漬罐詰製造試験

ニ魚粉ノ製造ニ關スル試験

(1) 含有油分抽出ノ工業化試験

(2) 抽出油ノ利用ニ關スル試験

(3) 魚粉ノ變質防止ニ關スル試験

四 魚粉ノ品質改善ヲ目的トスル工場指導

五 鱈ノ鹽藏ニ關スル試験

六 搾粕ノ利用ニ關スル試験

七 魚油ノ利用ニ關スル試験

八 朝鮮産まいわしノ生化學的研究

以 上 (昭和十三年十月)

漁撈並漁船士關スル事項（漁撈係）

一めんたい漁業試験

本試験ハ大正十一年以來繼續實施中ノモノニシテ、其ノ目的ハ朝鮮ニ於ケルめんたいノ増産、漁利ノ永續ヲ圖ラントスルモノナリ。前年度迄ノ經過ニ依リ漁撈技術的、生物學的、海洋學的方法ヲ以テ東經百三十二度以西ニ於ケル朝鮮東岸海區ノ全域ニ亘リめんたいノ生長、繁殖、回游、漁況ト海況トノ關係、並ニ適極漁具、漁法ノ完成、新漁場ノ探査ニ關スル基礎的ノ研究ニ從事シタリ。其ノ結果めんたいノ發生、成魚ノ生活狀態、回游経路、漁場ノ特性、漁場ノ海底形質ヲ闡明シ、新漁場ノ存在ヲ發見スルコトヲ得テ略所期ノ成果ヲ擧グルノ域ニ達シタルガナホ左記事項ニ關スル試験ヲ實施シ本試験ノ完成ヲ期セントスルモノナリ。

- (1) 近年威甌北道沿岸ニ新タニ群來スルニ至レルめんたい魚群ノ回游系統ヲ調査シ以テ其ノ將來ニ於ケル經濟價值ヲ推定セントス。
- (2) 朝鮮海灣主要漁場ニ群來スル魚群ノ組成ヲ確メ漁況豫察ノ基礎ヲ

確立セントス。

(3) 本試験ニ依リ東海岸北部地方ニ發見シタル新漁場ニ營業者ヲ延出セシムルタメノ漁術技術的、經濟的基礎ノ確立ニ努メントス。

### 三 西海沿岸各漁業試驗

#### 1 あぢ、さば漁業試驗

本試験ハ昭和四年度以來ノ繼續事業ニシテ其ノ目的ハ關西沿岸ニ新漁場ヲ求メコレニ業者ヲ誘導シテ經濟的開發ヲ行ハントスルニアリ。

試験ノ方法ハ現地ニ試験船ヲ派遣シ漁術試驗ヲ行フモノニシテコレニヨリ魚群棲息ノ季節別々多寡ヲ究メ、コレニ適應スル漁撈方法ヲ研究シ且ツ海洋學的、生物學的方法ニヨリ漁況ト海況トノ關係ノ闡明ニ努メタリ。而シテソノ昭和八年度マデノ經過ニヨリ關西沿岸一帶ニハ春ノ中頃ヨリ夏季マデハさば、晩春ヨリ秋季ノ終リマデハあぢノ群來頗ル多ク、所々ニ價值アル漁場ヲ形成スル事實ヲ發見シ、ナホ其ノ漁場ノ性状ヲ明ラカニシタルヲ以テ昭和

九年、希望者ヲ募リ、多量ノ漁船及運搬船、母船、油槽船ヨリ成ル  
船隊ヲ組織シ、本場試験船ノ誘導ノ下ニ西海岸漁場ニ於テ流網漁  
業ニ従事セシメタルトコロ其ノ收益極メテ良好ナリシ爲、爾來調  
鮮ノミナラズ四國、中國、九州地方ヨリノ通漁者モ之ニ加ハリ、  
其ノ後巾着網漁業者亦ココニ進出シ來タリ、今ヤ年額百五十萬圓  
以上ノ産額ヲ舉グルノ盛況ヲ呈スルニ至レリ。本漁場ノ開拓ハ特  
ニ漁場ノ荒廢ニヨリ疲弊シ居タル兩鮮さば漁業者ニ活路ヲ開キ與  
ヘタルモノニシテ年々多數ノ漁船同方面ヨリ出漁シツツアリ。  
然ルニ從來本場ノ採査シタル西海岸ノあぢ、さば漁場ハ極メテ盛  
況ナル區域ニ亘リ、今日上記常業者ニヨリ操業セラレツツアル漁  
場ハ、僅カニ南方一部地方海區ニ過ギザル状態ナルヲ以テ更ニ全域  
開發利用ノ域ニ到達セシムル素地ヨツクル爲、本場ニ於テハ引續  
キ漁場ノ實態ノ詳細ナル調査ニ當リ目下特ニ北部漁場ノ採査ニ努  
メツツアリ。

## 2 黃海底魚漁場調査



本調査ハ昭和十一年度以來繼續實施中ノモノニシテ其ノ目的ハ濱海陸棚ニ於ケル底魚ノ棲息量ノ多寡ト生活狀態ヲ探リ以テ和湯ニ類シタル本漁場ノ生産力ノ復活ト漁利ヲ永續トニ關スル方策確立ノ基礎資料ヲ得ントスルモノナリ。

調査ノ方法ハ試驗船ヲ現地ニ派遣シ漁撈ヲ試ミテ海區別、季節別ニ漁獲ノ量的觀察ヲナシ併セテ海洋學的、生物學的方法ニヨリ生活狀態ヲ知リ以テ所期ノ目的ヲ達成セントスルモノナリ。

本調査着手以來先ヅ其ノ第一段階トシテ全域ニ亘ル各季節ニ於ケル一般狀態ノ完成ヲ圖ラントシ目下引續キ其ノ資料ノ集積ニ努メツツアリ。

### 三 まい わし 漁業 試驗

本試驗ハ昭和十一年以來實施シツツアルモノニシテ其ノ目的ハまいわしの回遊、魚群體ノ組成等ヲ明ラカニシ漁場ノ擴張、漁利ノ増大、安定ニ資シ併セテ漁撈方法ノ改善ヲ行ハントスルモノナリ。

漁撈方法ニ關シテハ主トシテ大衆小漁業者ノ採算ヲ有利ニ導クタメ

沖取棒受網漁法ノ完成ニツキ試験實施中ナルガ、魚群ノ回游、生育状態等ヲ明ラカニスルタメ第二年度（昭和十二年度）ニ於テ東海崖各道（咸北、咸南、江原、慶北、慶南）水産試験場トまいわし漁業連絡試験ヲ開始シ實地作業ニヨリ日本海西部ノ廣範圍ニ亘リ調査ヲ行フコトトセリ。

本漁業連絡試験ニ關シテハ關係擔當員ノ會合打合セニヨリ其ノ方法ヲ一定シ、咸北ヨリ慶南ニ至ル沖合海區全般ニ亘リ適當ニ試験地點ヲ分布セシメ、まいわし來游ノ期間中毎月一齊ニ夫々試験船ヲ出動セシメ所定ノ地點ニ於テ大中小ノ網目ヲ有スル流網ヲ用ヒテ漁獲ヲ試ミ漁場の價值ヲ究ムルト共ニ更ニ詳細ナル魚體調査ヲ行ヒ魚群體ノ組成ヲ明ラカニシ以テ回游調査ニ關スル基礎的資料ヲ獲得シ、尙回游ト海況トノ關係並ニ産卵、食餌等ニツキ調査研究ノ歩ヲ進メツツアリ。

#### 四 東海岸さば漁場調査

東海岸ニ於ケルさば漁業ノ未ダ猶開發ノ餘地大ナル見込ミナルニ鑑

ミ昭和十年度以來東海岸（咸北、咸南、江原、慶北、慶南）各道水産試驗場ト提携シテ日本海西部ニ於ケル魚群ノ回游狀態ヲ調査レテ新漁場ノ發見ニ努ムルコトトセリ。

實地ノ作業ハ打合セ協定ニ基キ夫々關係各水産試驗場ニ於テ分擔シ年々繼續試驗實施中ナルガ前年度マデノ經過ニ依リ東海岸沖合一帶晚奉ヨリ夏季ニ亘リ廣大ナル延繩漁場ノ存在ヲ推定スルコトヲ得タルヲ以テ引續キ之ガ推認ノ爲連絡試驗調査續行中ナリ。

## 五 漁船試驗

本試驗ハ朝鮮ニ於ケル沖合漁船ノ改善、並改良漁船ノ普及ヲ目的トスルモノニシテ大正十一年度以來ノ繼續事業ナリ。

其ノ方法ハ實地ノ調査試験ニ基キテ標準型漁船ノ設計ヲナシ漁船改良ニ關スル行政施設ト連携シナリノ普及獎勵ヲ圖リ、且ツ官廳又ハ水産團體ノ主權ニ係ル船匠講習、講話會ニ擔當員ヲ講師トシテ派遣シ船匠技能ノ向上ニ努メ來タリシガ、ナホ從來ト同様ノ方法ニヨリ事業ノ歩ヲ進ムルノ外新ニ朝鮮水産會ニヨリ開始セラレタル漁船改

善事業ノ技術的事項ニ關スル指導ノ任ニ當ルコトトセリ。目下實施中ノ試驗事項左ノ如シ。

標準型漁船改善ニ關スル試驗

(一) 動力附鰈罟網漁船ノ改良ニ關スル試驗

全羅北道漁業組合聯合會ニ於テ道内鰈罟網漁業ノ振興ニ資スル爲動力附鰈罟網漁船建造ノ計畫アリ、本場之ニ協力シ五十馬力動力附標準型漁船ノ設計ヲ爲シ且ツ建造ニ際シテハソノ工事ノ指導ノ任ニ當リタルガ更ニ就航後ノ作業ニ於テハ船體性能ノ良否ヲ究ムルト共ニ漁撈方法ニ關スル試驗ヲナシ漸次改善ノ目的達成ニ努メントス。

(二) 朝鮮型發動機附流網漁船ノ改良ニ關スル試驗

從來朝鮮型漁船ハ帆裝漁船ノミニ限ラレシガ近年まいわし漁業ノ好況ニ伴フ經濟力ノ膨張ニヨリ、過去ニ於テ本場ノ努力ニヨツテ改善セラレタル朝鮮型帆船ト同型ノ船體ニ發動機ヲ据付ケまいわし流網漁業ヲ行フモノ簇出スルニ至レリ。コレラハ漁業

ノ進歩ヲ語ルモノトシテ慶賀ニ堪エザルトコロナルモ造船學的  
見地ヨリ見ル時ハ甚ダシキ不調和ノモノニシテ發動機船トシテ  
ハ脆弱不良、漁業經濟上終局ニ於テ得策ナルモノニアラズ。

而シテ此ノ種漁船ノ最モ多ク行ハルルハ江原道ナルヲ以テ本場  
ニ於テハ該道漁業組合聯合會、和兼ト特ニ多額ノ運費補助金ヲ  
交付ニヨリ本場設計ニカカル標準型漁船ヲ建造セシメソノ就航  
后ノ實績ニヨリ改善ノ節ヲ示シ以テ其ノ目的達成ニ努メントス。

#### 六 朝鮮水産會漁船改善事業ノ指導

朝鮮水産會ノ要望ニヨリ本年度ヨリ同會ニ於テ新規ニ開始シタル漁  
船改善ニ關スル事業（漁船ノ設計並畫圖技術、船體性能測定）ニ對  
シ本場從來ノ漁船試驗ニヨリ得タル研究ノ結果ヲ基礎トシテ技術上  
ノ指導ヲ行ヒ以テ漁船ノ改善ニ貢獻セントス。

製造加工並ニ生化學ニ關スル事項（製造係）

## 一 マイワシノ處理ニ關スル試驗

本試驗ハマイワシニ關シ之ガ利用方法ノ改善並ニ利用範圍ノ擴大ヲ目標トスル各種ノ試験ヲ包括セシメタルモノニシテ、本年度ニ於テ實施セントスル事項左ノ如シ。

### 1 魚粉ノ製造ニ關スル試驗

#### (一) 魚粉中ノ酸化酸ニ關スル試驗

魚粉中ニ於ケル酸化酸ノ定量ガ、ソノ變質程度ヲ研究スル上ニ極メテ重要ナル資料タルベキニ拘ラズ、未ダ適當ナル定量方法ノ確定サレタルモノナキニ鑑ミ、專ラ之ガ定量法ノ探究ニ努メタル結果、略適足スベキ方法ヲ案出シ得タルヲ以テ右ノ方法ニヨリ原料鱈ノ鮮度及生粕ノ乾燥方法ト酸化酸生成量トノ關係ヲ試験シ、以テ優良ナル魚粉製造ニ對スル指針ヲ與ヘントス。

#### (二) 搾粕製造ノ際ニ於ケルエキス利用ニ關スル試驗

本試験ハ搾粕製造ノ際多量ニ生産、廢棄セララルルエキスノ採取

利用方法ヲ講ズルヲ目的トスル從來全ク染手セラレザリシ部門ノ解決ニ資セントスルモノニシテ先ヅ第一着手トシテ之ガ合理的採取方法ニツキ試験シ、エキス利用ニ關スル一曙光ヲ認メ得タリ。然ルニ魚肉ガ不鮮ニ傾クニ從ヒ急激ニ呈味ヲ損ズルハ尚知ノ事實ニシテ搾粕製造ノ際ノ副産物タルエキスハ其ノ儘、之ヲ食品トシテ利用センニハ呈味ノ弱ニ於テ遺憾ナキ筈ハズ、依リテ斯カルエキスニ就キ之ガ味ノ還元ヲ目的トスル試験ヲ行ヒ、以テ食品の價値ノ向上ヲ圖ラントス。

### (三) 油ノ採取方法ニ關スル試験

#### (1) 煮熟ニ關スル試験

原料鹽ノ煮熟ニヨリ煮熟水ノ表面ニ浮上スル油ガ採取シ得ル油ノ總量ノ約八〇%ヲ占ムルコトハ、往年ノ本場ノ試験ニヨリ明カニナシ得タル事項ナルガ、從來一般ニ行ハレツツアル處ヲ見ルニ、コノ浮上油ヲ豫メ分取スルコトナク、若クハ極メテ不完全ナル汲取操作ヲナシタル儘煮熟原料ヲ取場グル場

合多ク、爲ニ一旦分離セル油ヲ再ビ魚体ニ附着セシメテ壓搾スル結果トナリ、單ニ油ノ收量ヲ減少シテ粕ニ於ケル脂肪ノ殘存ニ苦シメラルルノミナラズ、浮上油ハ高温ニ於テ長時間大氣ニ曝露セララルタメ其ノ品質ヲ低下セシムル等アラユル點ヨリ不利益ナル状態ニ終始シツツアルガ如ク認めラルルヲ以テ煮熟ニヨリテ分離シ來ル油ヲ浮上スルニ從ヒ絶エズ分離採取シタル場合ノ油ノ數量、性状並ニ粕ノ品等ニツキ在來法ノモノト比較試驗シ、以テ適當ナル煮熟様式ノ考案ニ資セントス。

(ロ) 油ノ分離ニ關スル試驗

油ノ分離採取ハ油及ビ搾粕製造作業中最モ困難ナル工程ノ一ニシテ、從來一般營業者ノ使用シツツアル分離槽ハ勞スルニ鹽油ト魚水トノ比重差ニヨリ自然ニ分離ヲ行ハシムル装置ナルモノ、多クハ分離不完全ニシテ之ヨリ流出スル廢水中ニ尙相當ノ油ヲ含有シ居レルコトハ近時大規模ナル工場ニ於テ此ノ



廢水ヲ超遠心機ニカケ之ガ回收ヲ試ルモノ漸次多キヲ加ヘツ  
ツアル實狀ニ徴シテモ亦明カナル處ナリ。然ルニ右超遠心機  
ハ一組ノ設置ニ數万圓ノ巨費ヲ要スルト共ニ運轉ニ多クノ熱  
力ヲ要シ設置ソノモノ亦極メテ精緻ニシテ之ガ使用ニ專門的  
知識ト熟練ヲ必要トスル等一般中、小業者ノ到底設置シ得ル  
モノニアラズ。而シテ從來ノ分離槽ヲ通過セル廢水ガ尙相當  
ノ油ヲ含有シ居レル所以ハ煮汁及搾汁ノ分離槽内ニ止マル時  
間ガ、油水分重差ニヨル自然分離ニ要スル時間ヨリ短キコ  
トト、比重差ニヨル單ナル自然分離ヲ以テシテハ最早分離不  
能ナルエマルジョンヲ形成セルニヨルモノノ如ク思考セラレ  
依リテ液ノ溫度並ニ水素イオン濃度ノ調節等油ノ分離ヲ促進  
セシムベキ條件ヲ探究スルト共ニエマルジョン槽ノ油ヲ其ノ  
儘適當ナル物料ニ吸着集積セシメタル後、適宜ノ分離處理ヲ  
施スコトヲ目的トシ、目下コレニ關スル豫備的試驗ヲ施行中  
ナリ。

## 2 搾粕ノ利用ニ關スル試験

本試験ハ要スルニ搾粕ヲ從來ノ主要使途タル肥料乃至飼料ニ終始スルニ甘ンズルコトナク、進ンデ食料用或ハ工業用原料トシテノ利用ノ途ヲ開キ以テ其ノ利用價值ノ向上、擴大ヲ圖ラントスルニアリ。目下引續キ左記ノ事項ニツキ試験中ナリ。

### (一) 搾粕ヨリ食料品ノ製造ニ關スル試験

從來肥料トナシ來タリシ糞搾粕ハ今ヤ専ラ家畜飼料用魚粉トセラレ利用方法トシテ一大進歩ヲ逐ゲタルモ更ニ直接人間ノ食料品原料トナシ得ベキ性狀ニマデ精製スルヲ得バ更ニ用途ノ向上トナリ糞ノ利用ハ茲ニ至リテ初メテ目的ヲ達シ得タリト稱シ得ベシ。依リテ本場ニ於テハ目下食料品トシテ完全ナルモノノ製造方法ニツキ研究試験中ナリ

### (二) 搾粕ヨリ工業用品ノ製造ニ關スル試験

本試験ハ搾粕ヲ工業用品製造原料トナスコトニヨリ其ノ利用價值ノ増進、利用範圍ノ擴大ヲ圖ルヲ目的トシテ開始セルモノナ

### 3

#### 3 罐詰ノ製造ニ關スル試験

ルガ、圖ラズモ支那事變ノ勃發ニヨリ本項ノ試験ハ頗ル重要性ヲ加フルニ至レリ。即チ國家經濟確立ノ見地ヨリ輸入ノ防遏、代用品ノ探究ハ焦眉ノ急ニ迫ラルルニ至リ、安價ニ饒産セラルル水産物ヲ以テ輸入品ノ一部ニ代用セシメントスル研究ハ最も重要ナル項目トナリタレバナリ。

依ツテ目下之ガ研究ノ完成ニ努メツツアリ。

#### (一) トマトサーヂン製造ニ關スル試験

トマトサーヂン製造ノ際ノ處理工程トシテ生詰法ガ生産費ノ點ニ於テ最モ有利ニシテ現在多クハ此ノ方法ニヨルモ、肉質柔軟、表皮決裂等ノタメ長途ノ輸送ニ堪エ難キニ鑑ミ、前年度ニ於テハ專ラ此ノ點ノ改良ヲ目的トセル試験ヲ實施シ一部改善ノ目的ヲ達成シ得タルガナホ引續キ北鮮支場ト協力シ更ニ一層改善ニツキ試験ヲ進ムルト共ニ一方乾燥機ノ考案ニ關シテモ研究セントス。

## (二) ペツハーサーデン製造ニ關スル試験

本項ニ就テハ、本品ノ商品化ナル目的ハ先ヅソノ完成ヲ見、之ガ輸出状況ハ往年ノトマトサーデンニモ比肩スベキ経路ヲ辿リツツアルヲ以テ更ニ之ヲ促進スベク、内容外觀ノ改善、生産費ノ低下ヲ目的トシテ試験セリ。而シテ纖維狀ニ細断セル辣椒ヲ添加セル試製品ハ辛ニシテ南洋方面住民ノ嗜好ニ合致シ前年度ノ試験ハ一部所期ノ目的ヲ達成セリ。然ルニ生産費ノ低下ニ關シテハ例ヘバ辣椒ノ添加方法ヲ更ニ合理的ナラシムルコト等ノ點ニ尙改善ノ餘地ヲ殘スガ如ク認めラルルヲ以テ目下引續キ北亞支場ト協力シ主トシテ此ノ點ニ關シ試験スルト共ニ内容品質ノ向上ニ對シテモ更ニ研究ノ歩ヲ進メツツアリ。

## 4 朝鮮産マイワシノ生化學的研究

マイワシニ於テハ鱈ノ最大部分ヲ占ムル魚白質ガ食料用、飼料用、肥料用等アラユル利用見地ヨリ最も重要成分ナルコト勿論ナルカ、處埋加工ノ見地ヨリ見ルトキ脂肪ハ漁力ニ重要視スベキ成分ニシ

テ、マイワシノ特徴タル脂肪含量ノ大ナルコトハ、一而耳ノ利益  
價值ヲ著シク向上セシムルト共ニ他面屢々障害視サレ、又相  
關ニ制限ヲ受ケ、製造ノ見地ヨリ問題ノ中心ヲナスモノハ常ニコ  
ノ脂肪ニ關スル事項ナリトス。

依リテ本年度ハ此ノ脂肪ニ關シ鱈體内ニ於ケル代謝状態ヲ追及セ  
ントスルモノナルガ、脂肪ノ消長ハ生殖腺ノ熟否ト密接ナル關係  
ヲ有スルモノナルヲ以テ、未熟ノ状態ニアル性内ノモノノミナラ  
ズ、因遊經絡ニ於テ關係アルガ如ク認メラレ、而モ生殖腺成熟セ  
ル長崎方面ノ鱈ニツキテモ研究シ、以テマイワシ利用ニ對スル基  
礎的知識ノ供與ニ資セントス。

## 六 輸出好望品ノ創製ニ關スル試驗

### 1 マイワシハダイ製造ニ關スル試驗

本試驗ニ於テハ前年度ノ豫定計畫ニ基キ製造セル試製品ニツキ目  
下之ガ商品の價值ヲ求メツツアリ、之ガ結果ノ判明ヲ待チ必要ニ  
應ジ更ニ夫々適切ナル試驗ヲ施行スル豫定ナリ。

## 2 カタクチイワシ油漬罐詰製造ニ關スル試験

カタクチイワシハ從來専ラ煮乾トシテ利用セラレ居ルモ、天候不良或ハ豐漁ノ際ハ製造工程兎角圓滑ヲ缺ギ徒ラニ腐敗遺棄セラルルノ外脂肪含量過多ナルモノハ製品ノ油燒ヲ起シ易キヲ以テ煮乾品原料トシテ亦適當ナラズ、之ガ處理上遺憾ノ點未ダ尠カラズ。然ルニ鱈油漬罐詰ハ元來歐米諸國ノ民間ニ需要大ナルモノナルガソノ原料技が國ノモノトハ同一ナラズ從ツテ外觀食味ニ於テ稍々異ナル所アリト雖モ製法ニ特異ノ考案ヲ施シ品質ノ優良ヲ期スレバ之ガ國際的商品トシテノ發展必ズシモ至難ナリトハ即斷シ難キヲ以テ目下之ヲ原料トスル油漬罐詰製造ニ關スル試験ヲ施行中ナリ。

## 3 カザミ罐詰ノ製造ニ關スル試験

カザミ類ノ罐詰ハ水産罐詰中最高價值ヲ以テ歐米諸國ニ絶大ノ嗜好ヲ有スルモノナルヲ以テ本年度ニ於テ從來全ク顧ラレザリシカザミ罐詰ノ製造ニ關スル試験ヲ施行シ、之ガ輸出品トシテノ價值ヲ

探究セントス。

### 三 朝鮮海苔ノ生理ニ關スル試驗

#### 1 海苔胞子ノ生態ニ關スル試驗

本試驗ハ海苔胞子ノ形成、放出、附性並ニソノ性状ニ關スル基礎的知識ノ獲得ヲ直接ノ目的トシテ先年度來施行シ來レルモノニソテ、年度ニ於テハ葉ノ乾燥程度ト胞子ノ着生トノ關係ニツキ試驗ヲ行ヒタルヲ以テ、本年度ニ於テハ引續キ左記事項ニツキ試驗ヲ行ハントス。

(一) 光線ト胞子着生ニツイテ

(二) 越冬條件ノ相違トソノ胞子ノ着生ニツイテ

#### 2 人工種付方法ニ關スル試驗

#### 3 青ノリ驅除ニ關スル試驗

#### 4 葉材料及ビ装置ノ考案ニ關スル試驗

前年時ニ於テハ先年度ノ考案ニ基クエレベーター型葉ニツキ詳細ナル經濟試驗ヲ施行セル結果、装置、製作費並ニ海苔收量ノ點ニ

於テT字型簇ト共ニ西海岸ノ海況ニ適應シ、産業的價值ニ於テ豊  
富ナルヲ確認セリ。(是等本場考案ニ係ル裝置ニ關スル試驗成績  
ニ就テハ其ノ概要ヲ不取敢關係各試驗場ニ報告シ置ケリ)而シテ  
右ニ裝置ハ海況ニヨリ尙ソノ局部的機構ニ於テ材料ノ節減ヲ期シ  
得ラルル餘地アルヲ以テ、此等ノ點ニツキ更ニ詳細ナル檢討ヲ試ル  
ト共ニ、此等ノ裝置ハ簇材料トシテ專ラ削竹ヲ使用セルモノナル  
ヲ以テ波浪ノ特ニ激シキ海區ニ於テハ其ノ折損少カラズ、附着セ  
ル海苔ノ流亡ヲ來タスコトアルニ鑑ミ、波浪ニ對スル抵抗性大ナ  
ルモノヲ簇材料トスル繁殖裝置ノ考案ニ就テモ試驗シ、以テ斯等  
發展ニ資セントス。

##### 5 春海苔ノ品質改善ニ關スル試驗

前年度ニ於テハ春期ニ至リ簇ヲ水面下ニ沈下セシムルコトガ、其  
ノ生活分野ニ於ケル環境要素ノ不均衡ヲ調整シ品質ノ改善ヲ圖ル  
ベキ有效手段タルベキ先年度ノ試驗ニ基キ、種々ノ裝置ヲ考案シ  
テ試験セルガ、何レモ收量ニ於テ尙水面浮游ノモノニ及バズ、右



ノ如キ様式ニヨリテハ産業的ニ價值薄キモノナリトノ結果ヲ得タリ。依リテ更ニ種々ノ操作ヲ施シテ色調ヲ調整セシムルガ如キ方法ニツキ試験セントス。

#### 6 朝鮮海苔ト内地海苔トノ成分組成ニ關スル試験

朝鮮産乾海苔ハ從來一般ニ其ノ風味並ニ質ニ於テ内地品ニ比較シ劣勢視サレ、例年ノ生産數量ハ波ノ數倍ヲ示シ居レルモ價値ニ於テハ常ニ低位ニアリ。本場ニ於テハ先年内地製品ト本場試験資料トニツキ全要素層ヲ比較シタル結果、毫モ内地品ニ劣ルコトナク、寧ロ之ヲ凌駕スルモノナルヲ確認シタルコトアリシガ、一般ニ食品的價値ハ其ノ營養價値ヨリモ嗜好的價値ノ如何ニヨリ決セララルル場合ヲ普通トスルモノナルヲ以テ、鮮産品ガ其ノ蛋白質含量ニ於テ優劣ナリトスルモ之ガ風味、硬軟度等所謂嗜好的要素ニ缺陷ヲ有スル限り食品的價値ノ向上ハ期待シ得ザレズ。然ルニ海苔ニ於ケル風味ト質トガ其ノ化學的組成分ニ於テ如何ナル聯關ヲ有スルモノナリヤノ基礎的知見ニ就テハ殆下之ヲ缺如シ居レ

ルヲ以テ、本年及び來年ノ兩年度ニ亘リ馴鮮海苔ト内地海苔トニ  
ツキ詳細ナル成分ノ比較定量ヲナシ以テ馴鮮海苔ノ品質改善ノ資  
ニ供セントス。

#### 四 寒天製造ニ關スル試験

本試験ハ、馴鮮ガテングサヲ多量ニ生産シ且ツ冬季ニ於ケル氣溫寒  
冷ニシテ寒天製造上ノ天惠ニ浴シナガラ從來原藻ノママ内地ニ移出  
スルニ甘ンジ來レルニ鑑ミ、之ガ鮮内ニ於ケル製造業ノ勃興ニ資ス  
ルヲ目的トシテ前年度ヨリ開始セルモノナルガ、前年度ノ試験ニ於  
テハ各項目トモ相應ノ成果ヲ收メ得タルヲ以テ、本年度ハ之ニ引續  
キ更ニ左記事項ニツキ試験セントス。

##### 1 原藻検査ニ關スル試験

本試験ハ現行検査方法ガ、主トシテ產地ヲ分類シ夾雜物ノ有無ヲ  
識別スル外、製造原料トシテ重大ナルベキ製品ノ性状、製造工程  
ノ難易等ニ關シ毫モ觸ルル處ナキニ鑑ミ之ガ合理的検査方法ノ確  
立ヲ期スルヲ目的トセルモノニシテ、前年度ニ於テハ原藻ノ相場

ト其ノ物理的並ニ化學的諸性質トノ聯關ヲ追究セルガソノ結果ニ  
基キ本年度ニ於テハ製造試驗ヲ行ヒ更ニ之ガ化學的檢討ヲ試ミ、  
以テ所期ノ目的タル原藻ノ合理的檢査方法ノ確立ニ資セントス。

## 2 漂白ニ關スル試驗

## 3 製造ニ關スル試驗

朝鮮ニ於テ寒天ヲ製造スル場合最モ不利ナル點ハ冬期ニ於ケル空  
氣ノ乾燥過甚ナルコトニシテ、凍結セシメタル心太ノ融解ニ際シ  
液汁ノ滴下尤分ナラザルニ速カナル乾燥ヲ來タシ、爲ニ製品ノ精  
製不完全ニシテ良品ヲ得難キニヨル。依ツテコレガ防止法ニツキ  
前年度來試驗實施中ナルガナホ引續キ朝鮮氣象ノ特異ニ基ク乾燥  
ノ急進ヲ益々誘導利用スルノ方法ニ關シ試驗ヲ進行セシムルト共  
ニ、更ニ適切ナル濕度賦與ノ方法ニ關シテモ尙試驗ヲ持續セント  
ス。

## 兵内 賦利用ニ關スル試驗

本試驗ハ先年度來ノ繼續試驗ニシテ從來遺棄シテ顧ラレザリシ魚類

内臓ノ一利用方法トシテ之ヨリ生理的有効物質ヲ抽出スルヲ目的トセルモノナリ。而シテ前年度マデハ主トシテ肝臓ヲ研究ノ對照トシザバ、イワシ、メンタイ等ノ肝臓エキスニツキ試験シ、メンタイ肝臓エキスニ於ケルヤクリトン、並ニ幼動物ニ對スル生長促進物質ノ存在ヲ確認セリ。依リテ引續キ左記事項ニ關シ試験ヲ進メツツアリ。

1 肝臓ヨリヤクリトン抽出ニ關スル試験

ヤクリトンハ解毒ホルモントモ稱セラルモノナルガ、前年度ノ試験ニヨリメンタイ肝臓中ニ之ガ存在ヲ確認シタルヲ以テ本年度引續キ之ガ抽出分離ヲ試ミ、ソノ解毒能力ヲ檢スルト共ニ更ニサハ肝臓ニツキ之ガ存在ヲ試験セントス。

2 肝臓ヨリ生長促進劑（ビタミンB<sub>12</sub>）ノ抽出ニ關スル試験

前年度ニ於テハメンタイ肝臓エキス中ニ其ノ效果ニ於テ牛肝臓エキスニ略匹敵スベキモノアルヲ認メ得タルヲ以テ本年度ニ於テハサハ肝臓エキスニツキ試験セントス。

3 肝臓ヨリ催乳素ノ抽出ニ關スル試験

牛肝臟エキスガ乳脈ノ發育ヲ促進シ乳汁ノ分泌ヲ旺盛ナラシムルニ必要ナル物質ヲ含有スルコトハ鼠或ハ産婦ニツキ既ニ證明サレ居ル事實ナルガ、斯カル泌乳ニ必要ナル蛋白質ハ或ハ魚類肝臟中ニモ含有セララルルニ非ズヤト忠料セララルルヲ以テ、本物質ニツキ試験セントス。

#### 4 白子ヨリ男性ホルモンノ抽出ニ關スル試験

前年度ニ於テハマンタイ白子ヨリ本物質ノ抽出ニツキ少シク鱒ルルトコロアリシガ、豫期ノ成果ヲ收メ得ザリシヲ以テ本年度ニ於テハ方法ヲ代ヘ、グズ白子ニツキ之ガ抽出ヲ試験トス。

### 六 朝鮮産水産物ヲ原料トスル皮革ノ製造ニ關スル試験

最近我國ニ於ケル皮革ノ輸入ハ一ヶ年約三千萬圓ノ巨額ニ昇リ國內諸埠ノ半ハ之ヲ海外ヨリノ輸入ニ俟ツ實狀ニアリ、従ツテ之ガ生産ノ補充ヲ圖リ、自給自足ヲ講ズルハ國家經濟ノ見地ヨリ頗ル重要事トナルガ、益々重大化シツツアル現下ノ時局ハ之ガ急速ナル確立ヲ要求シ、皮革問題ノ解決ハ頗ル重要注ヲ加フルニ至レリ。而シテ之

ガ一策トシテ原料豐富ニシテ而モ現在ニ至ルマデ殆ド大ナル利用價  
値ヲ認メラレザリシ魚類ノ皮ヲ皮革トシテ利用スル方法ヲ講ズルハ  
獨リ國策的見地ヨリノミナラズ水産經濟ノ増進ヲ圖ル點ヨリ亦極メ  
テ有意義ナル方策ナリト思考シ水産皮革ノ合理的鞣製造方ハニツキ  
試験セントス。

#### 七、ビヤツタン製造ニ關スル試験

我が國ニ於ケル膠及ビヤツタンハ現在主トシテ獸皮ヨリ製造セラ  
ルモノナルガ之ガ生産ハ國內ノ需要ヲ充タスニ足ラズ、年々百萬圓  
以上ノ輸入ヲ見ツツアル實狀ニアリ。而シテ膠及ビヤツタンハ戰時  
平時ヨリ尚ハズ各方面ニ必要缺グベカラザルモノナルガ、現在ノ戰時  
體制下ニ於ケル輸入制限ニヨル皮革原料ノ不足ハ從來國內ニ生産セ  
ラレタル膠原料トシテノ獸皮ヲ殆ド皮革トシテ利用スルニ至ラシメ  
ツツアルニヨリ益々原料難ニ陥リ、業界ニ於ケル重大問題トシテ喧  
傳サルルニ至レリ。即チ之ガ打開策ノ一トシテ從來品質並ニ採算ノ  
點ヨリ顧ララルコト少カリシ魚皮或ハソノ廢棄物ヲ原料トシテ使用

スル方法ヲ講ズルハ皮革問題ト共ニ水産製造界ニ課セラレタル研究  
事項トシテ著シク重要性ヲ加フルニ至レリ。

本試験ハ以上ノ實狀ニ基キ本年陽ヨリ開始セントスルモノナリ。

#### 八 漁網ノ防腐染料及ビ保存ニ關スル試験

現在朝鮮ニ於テ消費セラルル漁網ハ年額一千萬圓以上ノ巨額ニ達シ  
漁業資金ノ少カラザル部分ヲ占ムルモノナルガ、將來水産業ノ發展  
ニヨリ益々増加スベキモノニシテ、從ツテ漁網ノ有效適切ナル防腐  
染料及ビ保存方法ヲ考究スルハ漁業ノ經營ヲ一層有利ニ展開セシム  
ベキ樞要事項ナルノミナラズ、網地材料ノ大部分ガ之ヲ外國ヨリノ  
輸入ニ仰ギツツアル現況ニ於テハ輸入ノ防遏ヲ以テ國策遂行上ノ重  
要要件ト見做サルル現下ノ非常時局ニ對處スル見地ヨリスルモノ亦隨  
ル重要性ヲ有スルモノナリ。

本項ノ試験ハ以上ノ見地ニ基キ最も有效適切ナル漁網用染料及ビ漁  
網保存方法ノ探究ヲ目的トスルモノナルガ現在市販ノ染料ハ夥シキ  
多數ニ昇リ、從ツテ其ノ各々ニツキ比較試験ノ上選擇スルガ如キコ

トハ實際問題トシテ殆ド不可能ナルノミナラズ網ノ種類ニヨリテモ其ノ效果必ズシモ同一トハ限ラズ、最適品ノ選出ハ益々困難ヲ感ズル實狀ニアリ、依リテ先ヅ各種市販漁網防腐染料ニツキ巾着網用トシテノ優劣ヲ比較試験スルト共ニ更ニ優良ナル漁網防腐染料製出ノ資ニ供セントス。

#### 九 干潟地利用ニ關スル試験

本試験ハ元年度來ノ繼續試験ニシテ從來何等目ボシキ生産ナクシテ空シク放棄セラレツツアリシ處ノ彼ノ廣漠タル干潟淺海ニ利用ノ途ヲ拓キ、之ニヨツテ沿岸住民ノ生計ニ一段ノ安定ヲ加フルヲ目的トシテ實施セルモノニシテ、本年度實施セントスル試験左記ノ如シ。

1 アサリノ生理ニ關スル試験

##### (一) 潟土ノ性状トアサリノ生育ニ關スル試験

西海堤干潟地ニ於ケルアサリノ増殖方法ヲ考案セントスル爲ノ基礎的試験ニシテ、前年度ニ於テハ物理的性状ヲ異ニセル種々ノ土質ニ於ケル生育狀況ヲ試験セルガ引續キ各種試験ノ歩ヲ進



メ以テアツリ増殖ニ對スル基礎的資料ノ獲得ニ努メントス。

## (二) 餌料ニ關スル試験

本試験ハ朝鮮ニ於ケルアツリノ生長ガ内地ニ於ケルモノニ比較シテ遲鈍ナルハ、專ラ食餌的關係ニ於テ相違スルモノアルニ依ルベシトノ見解ニ基キ、兩者ノ關係ヲ探究シテ其ノ生長ヲ促進セシムベキ資料ヲ待ントスルニアリ。

## (三) 稚貝ノ移殖ニ關スル試験

### (1) 稚貝ノ抵抗力ニ關スル試験

前年財來ノ繼續試験ニシテ 前年度ニ於テハ三〇度以上或ハ〇度以下ノ如キ溫度ノ異常的昇降及ビ海水比重ノ激變ニ對スル稚貝ノ抵抗力ニツキ試験セルガ、本年度ニ於テハ更ニ飢寒衝激、浮泥等ニ對スル抵抗力ニ關シ試験スルト共ニ漁場ノ實地ニツキテモ稚貝斃死原因ノ究明ニ努メントス。即チ大田島ノ鷺島潟ハ例年春季ヨリ夏季ニ亘リ莫大ナル稚貝ノ發生ヲ見ルモ秋季ニ至ラザル以前ニ死滅スルモノ亦夥シキヲ常トスル

モノナルガ斯ノ如キ現象ハ他ユモ屢々散見セララルル處ニシテ  
之ガ王ナル原因ニツキ觀察試驗セントスルモノナリ。

(四) 稚貝時付量ノ多寡ト生育

本試験ハ稚貝ヲ移植スルニ當リ之ガ收納ヲ最モ有利ナラシム  
ベキ時付量ヲ知ラントスルヲ目的トセルモノニシテ、有明海  
ノ如キニ於テハ普通坪當リ七升内外ヲ以テ適量トナスモ海況、  
干潟ノ狀況ニ於テ著シク趣ヲ異ニスル半島西海岸ニ於テハ其  
ノ適量亦自ラ相異スルモノアルガ如ク認メラルルヲ以テ目下  
大也島試験地ニ於テ之ニ關スル試験施行中ナリ。

(四) 高所干潟地利用ニ關スル試験

本試験ハ四海岸ノ干潟地中廣大ナル面積ヲ占ムル干潮時四時間  
以上ノ露出ヲナシ現在殆ド有用生物ノ棲息ナキ高所干潟地ニ對  
シ生産ノ途ヲ講ズルヲ目的トシ、先ヅ露出過度ニ基ク乾塞ヲ極  
力緩和シ得ルガ如キ方法ノ考案ニ關シ前年度ヨリ試験實施中ナ  
リ。

2 カキノ生理ニ關スル試驗

(一) カキ餌料ニ關スル試驗

(二) カキ養殖裝置ニ關スル試驗

西海岸ノ如キ潮汐ノ漲退迅速ナル干潟地ニ適應スルカキ稚貝ノ附着材料ノ揀定ヲ目的トシ、諸種材料ニツキ試驗シ以テ西海岸ノ海況ニ適應スルガ如キ新裝置ノ考案ニ努メントス。

十、鹹水活魚ノ輸送並ニ蓄養ニ關スル試驗

朝鮮ヨリ内地ニ輸送セララル活魚ノ主ナルモノハハモ、アナゴ、タビ、カレヒ、ヒラメ等ニシテ之ガ洄遊地ニ於ケル取扱高百五十萬圓以上ニ達シナホ將來益々需要ヲ増加スベキ趨勢ニアリ。然ルニ現在ノ魚類ニ收養輸送スル方法ニヨレバ途中ニ於テ甚ダシキ歩減ヲ生ズルノ缺點アリ、依ツテ之ガ完全ナル輸送方法ヲ案出セントシ目下ハモ、アナゴニツキ研究中ナリ。ナホ之等魚類ノ蓄養ハソノ活輸送ノ前後ニ於テ必ず隨伴スベキ事項タルヲ以テ兩試驗並行シテ之ヲ施行スルモノトス。

養殖並ニ生物調査ニ關スル事項（養殖係）

水産業各般ノ健實ナル發展ノ基礎ヲナスモノハ對象物タル水産生物及之ガ生活環境タル海洋河川等水域ノ異相ノ正確ナル科學的認識ナリ。之アツテ始メテ漁業、養殖業ハ合理的ノ發展ヲナシ、適正ナル養殖保護策ハ樹立セラレ有效ナル濫獲防止、増殖ノ實ヲ擧ゲ得ベシ。本場ハカカル見地ノ下ニ養殖係ニ於テハ養殖試驗ヲ行フト共ニ重要水産生物ニ就テ種ノ査定、分布、生活史等ノ組織的調査ニ努メツツアリ。

一 重要水産生物ノ種ノ査定及分布調査

水産業各般ノ基礎知識タルベキ水産生物ノ種類及分布棲息區域ノ正確ナル調査ニシテ、年來繼續セルモノナリ。

1 魚類。朝鮮産全魚類約六五〇種ノ種類ノ査定及分布狀態ノ概要ハ既ニホホ明ラカニナシ得タルガ、ナホ分布狀態ノ詳細等ニ就テハ今後ノ調査ニ俟ツベキモノ尠カラズ。且南鮮地方ニハ、未ダ朝鮮産トシテ知ラレザル魚類ナホ若干存スルモノノゴトシ、コレラニツ

キ繼續調査ス。

2 貝類。重要二枚貝及巻貝ノ種類及分布ニ關スル調査ニシテ、調査ノ半途ニアリ、繼續調査ス。

3 鰓足類。たこ類、いか類ノ調査ニシテ、たこ類ノ種類及分布ハホホ明ラカニナリタルガ、いか類ニ就テハ未ダ未知ノ點多シ。コレラニ就キ引續キ資料ノ蒐集ニ努メツツアリ。

4 蝦類。朝鮮沿岸ニハ水産上重要ナル種類多ケレドモ、從來ノ調査殆ドナキタメ、種類分布等ノ不明ナルモノ多カリシガ、前年來ノ調査ニヨリテ、重要種ノ種類乃主分布ノ概母ハ明ラカニナシ得タルガ、未知ノ點ナホ多シ。ヨリテ繼續シテ資料ノ蒐集整理ニ努メムトス。

5 海膽類。雲丹製造ノ原料タル朝鮮海膽類ノ種類、分布等ニ就テハ未ダ正確ナル調査ノ企テラレタルモノトナサレタリ。本年昨ヨリコレガ調査ヲ開始セリ。

其重要水産生物ノ生態及生活史調査

種類及分布ノ明ラカニサレタル水産生物モ、ソノ習性、環境トノ關係、蕃殖、越冬各期ノ生活狀態等、凡ソ一生涯ノ生活ニ關スル事相ヲ明ラカニセザレバ、水産上ノ諸問題ヲ具體的ニ解決スベキ資料タリ得ズ。本調査ハカカル意圖ノ下ニ、海洋調査、漁撈試驗等トモ直接ノ關係ヲ以テ年來繼續シ來レル處ナルガ、今後モ一層ソノ範圍ヲ擴大シテコレヲ行ハムトス。

1 魚類。朝鮮産魚類ノ大半ニ就テハ既ニソノ生活史ノ輪廓ヲ明ラカニナシ侍タルガ、~~今~~今後ハ研究ニ俟テ處大ナルヲ以テ繼續施行中ナルガ特ニ本年度ヨリハ、朝鮮西海岸地方ノ最重要魚類タルぐち、~~これ~~此類ニ就キ、詳細ナル調査研究ニ着手シ、闡明セラレタル處多シ。

2 鰻足類。本調査ハ前年度ヨリ開始シタルモノニシテ、資料ノ蒐集及研究ニハ相當ノ年月ヲ要スルモノナルヲ以テ繼續施行中ナリ。

(一) たこ類。前年度ニ於テハいひだこノ産卵ニ關シテ、季節、産卵

習性、親たこノ卵保護習性、卵發生、孵化稚仔ノ習性等ヲ明ラ

カニナシ得タルガ、更ニ基礎資料ノ蒐集ニ努メ、特ニ發育期ニ就テノ調査研究ヲ進メツツアリ。

みずだこニ就テハ前年度ニ一般習性、産卵時期、孕卵親たこ等ニ關スル調査ヲ行ヒタルガ、更ニ一般資料ノ蒐集、特ニ稚仔期ノ資料ノ蒐集ニ努メツツアリ。

(二) いか類。まいかニ就テハ前年度ニ一般習性、産卵習性、卵發生、孵化稚仔ノ習性等ニ就テ明ラカニナシ得タル處多カリシガ、更ニ前年度ノ缺ヲ補ヒ、特ニ發育期ノ資料蒐集ニ努メツツアリ。じんどういかニ就テハ、前年度ニ於テ、一般習性、卵、稚仔等ノ調査ヲナシタルガ、目下産卵習性、卵發生等ニ就キ資料ノ蒐集及觀察ニ努メツツアリ。

しりやけいかニ就テハ本年度ヨリ調査研究ニ着手セリ。

3 蝦類。朝鮮産蝦類ノ生態生活史ノ研究ニ就テハ、既知資料ナシ。故ニソノ正確ナル調査研究ニ着手セムトスルモノニシテ、本年度ニ於テハ、朝鮮ニ於ケル最重要蝦類タルかうらいえび及あきあみ

ノ研究ヲ開始セリ。本研究ニハ相當ノ困難伴フベク、今後相當期間繼續ノ豫定ナリ。

### 三 朝鮮産魚類研究報告取纏及刊行

朝鮮産魚類ニ關スル從來ノ調査研究ノ結果ヲ取纏メテ刊行スルモノニシテ、前年度ヨリノ繼續ナリ。

### 四 沿岸養殖並ニ蕃殖保護ニ關スル調査、試験及研究

#### 1 二枚貝ノ浮游期及底棲初期ノ稚仔ニ關スル研究。

各種重要二枚貝ノ浮游幼期及底棲初期ノ稚貝ノ種類、性狀等ヲ明ラカニシ、養殖施設、稚貝ノ養成等ノ基礎資料タラシムトスルモノニシテ、前年度ヨリ繼續施行シ、本年度ヨリハ左ノ二項ニ分チテソノ研究ヲ進メムトス。

#### (一) 浮游稚仔ノ査定及變態期ノ研究。

前年度ヨリ引續キはまぐり及ビばかかひノ研究ヲ行ヒ、更ニまてニモ着手セリ。

#### (二) 重要二枚貝浮游期稚仔出現ニ關スル量的研究。目下方法其ノ他



ニ就テノ豫備的研究ヲ實施中ナリ。

2 あかかひ養殖試験及研究。

あかかひ養殖ニ就テハ、ソノ基礎タル生活史ニ關スル研究ハ既に重要ノ部分ハホボ完了シ、ソノ基礎知識ヲ以テ養殖法ヲ創案シ、殊ニ人工採苗ニ關シテハ簡單且極メテ能率のナル方法ヲ案出シ得タル次第ナルガ、ナホ採苗及稚貝育成等ニ關シテ研究改良スベキ餘地アリ。現在主トシテ左ノ事項ニ就テ試験研究ヲ行ヒツツアリ。

(一) 人工採苗ニ關スル試験。延繩式ニ附着材料ヲ沈下シテ採苗スル方法ニヨレバ、極メテ多量ノ稚貝ヲ採取シ得レドモ、一方害敵ニヨル被害モ少ナカラズ、ヨリテ附着材料設置方法等ニ就テ特ニ試験中ナリ。

(二) 人工採苗稚貝ノ育成ニ關スル研究。

人工採苗法ニヨリテ採取セル微小ノ稚貝ヲ養殖場ニ播付クルニ適當ナル大サマデニ、可及的ニ步減少ナク成長セシムル方法ノ研究ニシテ、前年度來繼續セル處ナルガ、本年度ニ於テハ浮游

育成法ニツキ研究ヲ行ハムトス。

### 3 重要水産生物生殖時期調査。

本調査ハ總督府水産課トノ連絡調査タル蕃殖保護ニ關スル調査ノ一部ニシテ、ソノ生物學的基礎資料ヲ得ムトスルモノナリ。現在左ノ四種類ニツキコレヲ施行ス。

(一) さざえ。本年度開始。

(二) かうらいえび。本年度開始。

(三) めきあみ。本年度開始。

(四) ずわいかに。前年度ニ着手セルガ本年度モ繼續シテ行フ。

## 五 嶺海養魚場ニ於ケル淡水養殖ニ關スル事業及試験

### 1 淡水養殖試験。

(一) こひ、かむるちー及ふな採卵孵化並ニ稚魚養成試験。ふな以外ハ配付事業ニ伴ヒテ實施スルモノナリ。

(二) こひ飼育試験。現在ノ養魚場ノ状態ニテハ、配付用稚魚ノ生産ニツノ設備ノ大部分ヲ使用スルタメ、各般ノ基礎的並ニ經濟的

試験ヲ行フ餘地少ナケレドモ、可及的ニコレヲ諸試験ヲ行ヒツツアリ。

(1) 餌料試験。一年魚ハ配付殘魚ヲ供試魚トシ、蛹ト米糠、蛹ト

大豆粕、蛹ト麥粉、鱈ノ粕ト米糠、鱈ノ粕ト大豆粕、鱈ノ粕

ト麥粉等ノ混合餌料ニ就テ行ハムトス。二年魚ニ就テハ、蛹、

米糠、大豆粕、麥糠、鱈ノ粕ノ各單一餌料ニ就テ行ハムトス。

(2) 倭小二年コヒト當才コヒトノ成長度比較試験。前年度ヨリノ繼續ナリ。

(3) 二年魚以上ノ飼育試験。親とヒ補充用トシテ養成スルモノニ就テ行フモノナリ。

(4) 絶食試験。前年度ヨリノ繼續ナリ。

(5) かむるちノ飼育試験。試験池不足ノタメ十分ナル試験ヲ行ヒ得ザレドモ、可及的ニコレヲナサムトス。

(6) 餌料試験。一年魚二年魚トモ鹽鱈、各種魚類ノ糜棄部、鹽鱈ト粟トノ混合物ニ就テ行ハムトス。

(四) 無給餌飼育試験。一年魚及二年魚ニ就テ行ハムトス。

(四) ふな養殖試験。

(一) 成育ト成長率トノ關係。前年度ヨリノ繼續試験ナリ。

(四) 放養過量試験。給餌ノ場合ト無給餌ノ場合トニ就キ行ハムトス。

(ハ) 北陸ふなト南陸ふなトノ成長率比較試験。前年度ヨリノ繼續試験ナリ。

(五) 貯水池利用養殖試験。

(イ) 鍾海養魚場貯水池。従前同様ニ行フ。

(ロ) 府北水利組合貯水池。慶尙南道密陽郡所在。各種資料ノ蒐集ヲ主トシ、前年度同様。

(ハ) 影池。慶尙北道慶州郡所在。前年同様。各種資料蒐集ニ努ムトス。

(六) 水田利用養殖試験。

(イ) こひ一年魚養成試験。稻植付ト同時ニ開始セリ。

(四) こひ二年魚養成試験。二年組ノ稻田養鯉ハ稻植付後行フモノ多シ。然レドモ、養魚池ヲ有セサルモノ、或ハ濠田等ニテハ早春ヨリ行フヲ有利ト考ヘラルルニツキ、コレガ實際ノ資料ヲ得ルタメニ施行セムトスルモノナリ。

(イ) こひ稚魚養成試験。孵化直後ノモノヲ、稻植付期マデ飼育スル場合、みぢんこノ發生ヲ講ゼズ、直千ニ人工餌料ニテ飼育スル簡易ナル方法ニテノ歩留及成長度ヲ知ラムトス。

(ニ) ふな一年魚養成試験。前年同様ノ方法ニテ行フ。

## 2 稚魚及卵配付事業。

養魚場創立以來年々繼續實施中ナルガ昭和十三年度ニ於ケル配付成績左ノ如シ。

(一) こひ稚魚及卵配付。こひ稚魚一二四萬尾、こひ卵九〇萬粒。

(二) かむるち稚魚配付。一四五〇〇尾。

## 3 淡水養殖ニ關スル講習及指導。

(一) 現地出張指導。

(1) 種魚、卵被配付者ニ對スル指道。同種同種ナルカ、本年取ニ於テハ從來ノ成績ニ鑑ミ、成ルベク母魚買入等ノ配付前若クハ配付直後ニ指道スルコトトセリ。

(2) 親魚發揚下者ニ對スル指道。親魚ヨリ出ラ採卵將化シテ發卵ヲ行ハムトスルモノニ對スル指道ナリ。

(二) 來場者指道。

(1) 見送乃至短期實習ノタメ來場ノ總務主任ニ對スル指道。

(2) 配付魚受領ノタメ來場者ニ對スル指道。

(三) 文書ニヨル指道。隨時文書ニヨル奉還法、各種處置法等ニ關スル照會ニ對スル文書指道。

(四) 講習會開催。地方ニ於ケル現地指道員養成ノ目的ヲ以テ、特定農家ノ訓練トシテノ養魚ノ發達ヲ促サムトスル見地ヨリ、主トシテ郡乃至邊會ノ役職員ニ就テ、總務課長場ニ於テ短期講習ヲ行ハムトスルモノニシテ、前年度第一回ヲ開催シテ好成績ト評メラレタルガ、本年も八月下旬之ヲ開催セリ。

#### 4 稚魚輸送試験。

こひ稚魚輸送法ニ關シテハ既に大体ニ於テ完成シテ實際シツツアルガ、ナホ一層簡易化スルニ就キ改良スベキ點アリ。實際ノ稚魚輸送ニ際シテソノ試験ヲ行ヒ、俾セテふな稚魚ニ就テモ前年度ヨリ引續キコレヲ施行セリ。

海洋調査ニ關スル事項（海洋調査係）

一沿岸定置海洋觀測

朝鮮沿海ノ海況調査ニ資スル爲水産試驗場ノ外沿岸各地ノ燈臺、水産學校、製冰検査所等全鮮三十五箇所ニテ施行スル表面水溫、水比重並ニ氣象ノ觀測成績ヲ本場ニ於テ取纏メ各旬別並ニ月別ニ整理シ、平年トノ偏差ヲ調査シ、月々發行ノ朝鮮近海海洋圖ニ輯録シテ一箇年分取纏メ海洋調査要報ニ印刷發表ス。

ニ定線横斷觀測（全鮮各道水産試驗場連絡調査）

朝鮮近海海況推移ノ状態ヲ知り海況ノ變化ノ漁況ニ及ボス影響ヲ明ラカニスルタメ毎月一回凡ソ同一時期ニ各地先沖合ノ海洋觀測ヲ實施スルモノニシテ、大正十二年十月開催ノ第一回朝鮮水産試驗場長會同以來各試驗場トノ間ニ屢々打合協議ヲ爲シ、觀測定線並ニ定點ヲ定メ、全國水産試驗場海洋調査打合會ノ協定ヲ基礎トシテ觀測事項、觀測方法等ヲ決定シ、觀測成績ハ之ヲ本場ニ於テ取纏メ整理シ、月々海洋圖ニ輯録發表シツツアリ。近年ソノ觀測範圍モ擴張セラレ、



毎月定期ノ觀測モ勵行セラレ近海ノ海況潮ク明ラカトナリ其ノ正變  
化、例年トノ相違等モ容易ニ之ヲ認知シ得ルニ至レリ。  
ナホ定線觀測ノ際採取セル海水ノ鹽分ハ凡テ本場ニ於テ測定スルモ  
ノナルガ、之等所定ノ觀測調査ノ外海流瓶ニヨル表面海流調査、標  
識魚放流ニヨル回游調査、プランクトンノ採集調査等海洋調査各般  
ノ事項ニ亘リ本場之ガ中心トナリ各道水産試驗場ト連絡協調シテ繼  
續調査實施今日ニ及ベルモノナリ。

### 三、海潮流ノ觀測調査

#### 1 表面海流調査（海流瓶調査）

年々ノ繼續事業ニシテ毎年二、五、八、十一ノ各月、各道水産試  
驗場ノ定線横斷觀測ニ際シ（又ハ隨時）海流瓶ヲ投入シ其ノ拾上  
ゲ報告ヲ本場ニ於テ取纏メ整理シ表面海流調査ニ資スルモノトス。  
大正十五年本事業開始以來今日ニ至ルマデノ投入瓶數全條ヲ通ジ  
テ既ニ七萬本ニ達シ、其ノ從來ノ漂流成績ニ就テハ海洋調査要報  
第二、三號同第七號同第八號等ニ掲載發表シタルガナホ引續キ繼

續實施中ナリ。

## 2 潮流計ニヨル觀測調査

鵜丸船上ヨリ潮流計ヲ以テスル海潮流ノ觀測調査ハ大正十二年以降引續キ同船ノ觀測航海ノ際隨時隨所ニ於テ之ヲ實施シ、之等潮流成績ニ就テハ海洋調査報告第二號、海洋調査要報第四一八號等ニ發表スルトコロアリタルガナホ今後モ引續キ實施ノ豫定ナリ。

## 四 重要魚類ノ回游調査（標識魚放流）

重要魚類回游調査ヲ目的トスル標識魚ノ放流ハ朝鮮ニ於テハ大正十三年五月本場ガ兩鮮ノさばニツキ麻行シタルヲ始トシ、其ノ後引續キ各道水産試驗場ト協力シテさはノ外ぶり、あぢ、からふとます、たら、にしん、めんたい、まいわし等ニツキ實施シ、コレ等放流並ニ再捕ノ成績ニツキテハ一部海洋調査要報第二、三號、同第七號ニ發表シタルガ本年度各試驗場ニ於テ放流該定ノモノハさは（威北、威南、江原、慶北、慶南、全南）、まいわし（本場、威北、威南、江原、慶北）、ゆんたい（江原）、たら（江原）、にしん（江原、慶

北) 等ナリ。

尙本場(「漁撈係」)ニ於テハまいわしノ外黃海方面各種底魚類ニツキ多數標識放流實施中ナリ。

まいわし資源ニ關スル海洋生物學的基本調査

朝鮮ニ於ケルまいわし漁業ハ創始以來僅ニ十數年ヲ經過スルノミナルニ拘ラズ今ヤ半島ニ於ケル重要産業ノ位置ヲ占ムルニ至リソノ飛躍的發展ハ當ニ驚異ニ値スルモノアリ。

本場ニ於テハ本漁業ノ重要性ニ鑑ミ漁獲物ノ處理ニ關スル試驗研究ノ外引續キ生物、生化學、漁撈等ノ各方面ヨリ調査研究ノ歩ヲススメツツアルトコロナルガ、更ニ左記ノ如ク海洋生物學の立場ヨリ本魚族ノ資源的基本調査ヲ實施シ本漁業恆久策確立ニ資スルトコロアラントス。

1 産卵ニ關スル海洋生物學の調査。附、まいわし近縁種ニ關スル調査

本場ニ於テハ朝鮮産まいわしノ魚体調査並ニ周年ニ亘ル卵及稚仔

ノ採集調査ニヨリ剛甕沿海ニ於テハ殆ド産卵ノ行ハレザルコトヲ  
確認シ得タルガ、昭和十一年二―七月ニ於ケル鵜丸ノ日本海調査  
ノ結果四月ヨリ七月ニカケ山陰、北陸ヨリ北海道ノ南部ニ至ル裏  
日本沿岸到ルトコロニ於テ多少ヅツ産卵ノ行ハルル事實判明シ、  
越エテ翌十二年二―四月ニ於ケル九州近海觀測調査ニ於テ薩南沿  
海、大隅海峡附近ニテ特ニ夥シキ數量ノまいわし卵ヲ採集シ同近  
海ガまいわしノ一大産卵場ナルコトヲ發見スルト同時ニ産卵ト海  
況トノ關係其ノ他ニ有力ナル知見ヲ加ヘタリ。其ノ後十三年二、  
三月ノ調査ニヨリ之ヲ確認セルガ更ニ昭和十四年ニハ一層廣範圍  
ニ亘リ資源的定量的調査ヲ主眼トスル卵及稚仔ノ量的分布、産卵  
場、産卵期ソノ他産卵、孵化ニ關スル調査ヲ續行セントス。  
尙本場試験船並ニ各道水産試験場連絡調査ニヨル採集資料ニヨリ、  
まいわしノミナラズ同近縁種ノ卵及ビ稚仔ノ地理的並量的分布等  
ニ關シ同時ニ調査實施中ナリ。

## 2 遼海ニ關スル海洋生物學的調查

卵稚仔ノ漂流移動、成魚ノ回游經路、時期、速サ、目的、位置、生埋及ビ其レ等ト水溫、餌、海流等海況トノ關係ヲ明ラカニスル爲海況産卵、群族、漁況等ノ關係並ニ標識放流調査ヲ實施シ、卵、稚仔及大羽いわしニツイテハ相當確實性アル知見ヲ得タルモ更ニ繼續調査ヲ行ヒ一層之ガ闡明ニ努メ、ナホ從來比較的調査不充分ナリシ小羽、中羽いわしニツキ特ニ調査實施ノ豫定ナリ。

### 3 食性ニ關スル調査

食餌ト海況、回游、成長度、肥滿度等トノ相互關係闡明ニ資スルヲメ左記調査ヲ實施ス。

#### (一) 海中プランクトンニ關スル調査

プランクトンノ分布、種類、量、出現時期及其レ等ト海況特ニ水溫及榮養鹽類等トノ關係ニツキ調査ヲ實施ス。

#### (二) 消化管内容食餌ニ關スル調査

連絡試験其他ノ資料ニツキ地方別、季節別、各生育期別ニ消化管ノ内容ヲ調べ、其レ等ト前項海中プランクトントノ關係、ヨ

リ延ンテ食性ト海況、回游、肥満度等トノ關係ニツキ研究ス。  
4 漁場ソノ他ノ海況調査

漁況豫報及資源的研究並ニ回游調査ニ必要ナル重要資料トシテ前記産卵場ノ海況調査ノ外毎月實施セラルル定線横斷觀測、漁場調査其他隨時施行ノ觀測及沿岸定地觀測資料ヲ蒐集シ、産卵、索餌、回育、回游、漁期、漁況ニ及ボス海況ノ影響等ニツキ繼續調査中ナリ。

#### 5 年級ニ關スル調査

回游、漁業ノ豐凶豫察並ニ資源的研究上ノ基礎的事項ノ一トシテ魚ノ年齢ヲ明ラカニスル要アリ。本場ニ於テハ鱗其ノ他ニヨルコレガ査定ノ方法ヲ研究シ先ヅ鱗ニ現レタル輪環ニヨリテ來游魚群ノ年級組成ニツキ引續キ調査研究中ナリ。

以上ノ外「朝鮮ニ於ケル過去ノまいわし來游異常現象」ニ關シテハ、大正十二年秋北鮮ニ突如起リタルまいわしノ斃死現象ガ測ラズモ朝鮮まいわし漁業ノ濫傷トナリシ事實ヲ顧ミ、過去ノ記録乃至記憶ノ

事實蒐集ニヨリ當年海況ノ異常現象其他過去ノ事相ヲ闡明シ、朝鮮  
まいわしノ回游調査ノ一助トナシ其ノ將來ニ對スル考察資料トラス  
メントシ、更ニ資源的研究ノ最重要事項タル「各生育期ヲ通ズル殘  
存率及コレニ及ボス自然及人爲的影響」ニ關シテバまいわし回游系  
内ニ於ケル鰯魚、卵、シラス、小、中、大羽ノ量的相互關係、換言  
セバ殘存率及其レニ及ボス海況、害敵、漁業ノ影響ヲ前掲各項目其  
他各方面ノ資料ヨリ逐年調査ノ歩ヲ進メ、ソレ等ノ成果ヲ利用シ「  
漁況ノ長期及迅速豫報方法」ノ確立ニ努メントス。

## 六 海水ノ化學成分ニ關スル調査

海水ノ化學的成分ニ關シテハ、鹽分ニ就テハ毎月各道水産試験場施行  
ノ横斷觀測ニ於テ採水セラレタルモノヲモ凡テ本場ニ於テ檢定シテ  
其ノ正確ヲ期シ、水素イオン濃度（ $P_{H}$ ）並ニ水中溶存酸素ニ關シテ  
ハ鷄丸ノ定規其他近海觀測ニ際シ採水測定シテ其ノ水平分布、垂直分  
布並ニ時期的變化ニキ定ヲ明ラカニシ、硝酸鹽、磷酸鹽、硫酸鹽  
ノ三要素鹽類ニ就テハ各月各地方ヨリ採取セラレタル海水ニツキ分

## 七 漁況調査並海況報告

析定量シ、同時ニ採集セラレタルプランクトンノ定性的並ニ定量的研究並ニ魚類ノ産卵、索餌、成育、回游ソノ他水産生物ノ分布、成長等ニ關スル調査研究ト相俟ツテ其レ等ノ相關關係ヲ究メ、以テ近海各海區ニ於ケル生産量ニ關スル基本的知識ノ獲得ニ努メツツアリ。

1 漁況調査。各道水産試験場其他各地方ヨリ月々漁況ノ報告ヲウケナホまいわし漁業ニ就テハ漁期間中關係各道水試ノ旬報ニヨリ漁況推移ノ狀況ヲ明ヲカニシ、更ニ一箇年間ヲ廻ジ各道主要漁業ニツキ夫々其ノ漁期、漁場、出漁船數、漁獲高及ビソレ等例年トノ比較、特殊現象等ヲ調査シ當年ノ海況トノ間ノ關係ニツキ研究ニ資シツツアリ。

2 「朝鮮近海海洋圖」ノ刊行。本場並ニ各道水産試験場ニテ毎月月初施行スル横斷觀測、燈臺等ノ沿岸定地海洋觀測、其他ノ資料ニヨル各月上旬ノ海況ヲ取纏メ表面水溫分布圖ヲ作製シ不敢朝鮮水産新聞ニ掲載速報シ、更ニ詳細ハ「朝鮮近海海洋圖」ニ輯録印



刷シ毎月一回發行シツツア  
リ。

## 北鮮支場試驗事項

凡テ健全ナル企業發達ノ順序ハ實驗室内ノ基礎的研究ニ基キ企業ノ可能性ヲ判断シ、次ニ中規模ノ事業的試驗ヲ施行シテ事業實施ニ關スル諸資料ヲ確實ニシ然ル後實際事業ニ進展セシムベキモノニシテ實驗室ニ於テ得タル結果ニヨリ直ニ大規模ノ事業ヲ經營シ又事業ノ改革ヲ行ハントスルハ經濟的ニ幾多ノ危險アルヲ免レズ。而テ試驗研究ニヨリ新規事業ノ案出又ハ或種事業ノ改善ニ付成果ヲ俾タリトスルモコレヲ事業的ニ實施スル爲ニハ更ニ經濟的効果如何ニツキ試驗シ實際的方法ヲ確立シ始メテ之ヲ民間ニ推奨スベキモノ多シ。

北鮮支場ハ以上ノ趣旨ニ基キ試驗場ノ試驗研究ノ成果ヲ實際化セシムルコトヲ主眼トシテ設立セラレタルモノニシテ、特ニ朝鮮ニ於ケルまいわし製造工業ノ發展ヲ促シ且ツ輸出貿易ノ振興ニ參與スルトコロアラントシ、試驗工場ヲ設備シ本場ト連携ヲ深キ半工業的經濟試驗ヲ實施スルモノトス。

昨昭和十二年度ヨリ事業ヲ開始シ、同年度ニ於テハペツバーサ  
ナンノ製造試験並ニ海外試賣等ヲナセルガ現在實施中ノ試験事項  
ヲ概計スレバ左ノ如シ。

一 榨油製造方法ノ改善ニ關スル試験（工場試験）

- (1) 各種壓搾機ノ優劣比較試験
- (2) 新式壓搾法ノ考案

(3) 魚油分離槽ノ改良ニ關スル試験

二 罐詰製造ニ關スル試験（工場試験）

(1) ペツバーサーゲンノ製造並輸出試験

(2) フイツシユボール罐詰製造試験

(3) 鯖油漬罐詰製造試験

三 魚粉ノ製造ニ關スル試験（工場試験）

(1) 含有油分抽出ノ工業化試験

(2) 抽出油ノ利用ニ關スル試験

(3) 魚粉ノ變質防止ニ關スル試験

四 魚粉ノ品質改善ヲ目的トスル工場指導

ミール分析

五 鱸ノ鹽藏ニ關スル試驗

大量的生產並ニ販路開拓試驗

六 搾粕ノ利用ニ關スル試驗（本場トノ連絡試驗）

七 魚油ノ利用ニ關スル試驗（ ” ” ）

八 鮭<sup>ニ</sup>産まい<sup>ノ</sup>しノ生化學的<sup>的</sup>研究（ ” ” ）

以

上